

1. 科目名 (単位数)	英語基礎演習 I (文法・読解) (2 単位)	3. 科目番号	EDEN1301
2. 授業担当教員	志手 和行		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし。		
7. 講義概要	英語の「読む力」や他の技能を向上させるには、英文法の基礎知識が不可欠である。本科目では英文法の基礎的な事項を改めて復習しながら様々な形態の練習問題をこなすことで、各自が持つ文法知識をより実践的に活用できるようになるよう目指す。特に英語の文構造を理解しながら意味を把握することで、英文をより正しく解釈するための基礎を培っていく。また文法力と同時に語彙力も必要であるため、継続的に語彙知識の増強を図っていく。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文法の基礎をしっかりと固めて、自分の持つ文法知識をより体系的に捉えられるようになる。</li> <li>2. 学習した英文法を英語の「読む力」や他の技能の養成へと実践的に活かせるようになる。</li> <li>3. 英文読解や他の技能の養成に必要な語彙知識の量を効果的に増やせるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内容の理解を深めるために予習・復習としてテキスト内の問題を毎回課す。</li> <li>2. 文法知識の理解を更に深めるために、長期休暇中の課題として英文法の問題演習を課す。</li> <li>3. テキスト内だけでなく語彙知識増強のための課題も適宜課す。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 津村修志 他 著『Good Choice! -Basic Grammar for College Students- 』金星堂。</p> <p>【参考書】 各自英和辞書を持参すること。詳細は授業中に指示する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準(学習目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文法の基礎をしっかりと固めて、自分の持つ文法知識をより体系的に捉えられるようになったか。</li> <li>2. 学習した英文法を英語の「読む力」や他の技能の養成へと実践的に活かせるようになったか。</li> <li>3. 英文読解や他の技能の養成に必要な語彙知識の量を効果的に増やせるようになったか。</li> </ol> <p>○評定の方法 以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業への参加態度 総合点の 30%</li> <li>2 授業ごとの課題 (復習課題・小レポート・小試験・等) 総合点の 30%</li> <li>3 期末試験 総合点の 40%</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>英文法は「聞く」「読む」「話す」「書く」の四技能を習得する際に不可欠な知識である。今まで習ってきたことを活かせるように英文法の様々な捉え方を取り扱うので、テキストの予習・復習を習慣付けるようにしてもらいたい。また、教科書の音声教材はダウンロード可能であるため、授業外での活用を強く勧める。特に、同じ英語の文章を繰り返し聞くことはとても大切なことである。積極的な学習を期待し、努力した者が報われるような評価をするのでしっかりと学習に励んで欲しい。</p>		
13. オフィスアワー	第 1 回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	この科目を受講するにあたっての留意点	事前学習	これまでの英語学習を振り返り、授業に臨むこと。
		事後学習	講義の流れをつかみ、学習計画を立てる。
第 2 回	Unit 1 - ウェブサイト (be 動詞の変化・役割)	事前学習	Grammar (p.12) の演習問題に取り組み、be 動詞についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 3 回	Unit 2 - レストランレビュー (be 動詞否定・疑問文)	事前学習	Grammar (p.18) の演習問題に取り組み、be 動詞の否定・疑問文についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 4 回	Unit 3 - フロア案内 (一般動詞現在形)	事前学習	Grammar (p.24) の演習問題に取り組み、一般動詞についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 5 回	Unit 4 - よくある質問。 (一般動詞否定・疑問文)	事前学習	Grammar (p.30) の演習問題に取り組み、一般動詞の否定・疑問文についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。

第 6 回	Unit 5 - ブログ (3人称単数現在)	事前学習	Grammar (p.36 & 42) の演習問題に取り組み、3人称単数現在についてポイントを押さえる。
	Unit 6 - 雑誌記事 (3人称単数現在否定・疑問文)	事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 7 回	Unit 7 - 今月の人気商品 (代名詞)	事前学習	Grammar (p.48) の演習問題に取り組み、代名詞についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 8 回	Unit 8 - ディスカウントクーポン (助動詞)	事前学習	Grammar (p.54) の演習問題に取り組み、助動詞についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 9 回	Unit 9 - 問い合わせメール。 (WH 疑問文 [when, where, what] )	事前学習	Grammar (p.60) の演習問題に取り組み、WH 疑問文についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 10 回	Unit 10 - 取引先へのメール (how many, how much [可算・不可算名詞])	事前学習	Grammar (p.66) の演習問題に取り組み、可算・不可算名詞についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 11 回	Unit 11 - 故障のお知らせ (現在進行形, be going to)	事前学習	Grammar (p.72) の演習問題に取り組み、進行形と未来表現についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 12 回	Unit 12 - 社内メモ (there is, there are)	事前学習	Grammar (p.78) の演習問題に取り組み、There is/are 構文についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 13 回	Unit 13 - セールのチラシ (動詞過去形[一般動詞の規則・不規則変化])	事前学習	Grammar (p.84) の演習問題に取り組み、動詞の過去形についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 14 回	Unit 14 - アンケート (動詞過去形否定・疑問文)	事前学習	Grammar (p.90) の演習問題に取り組み、過去形の否定・疑問文についてポイントを押さえる。
		事後学習	同 Unit 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 15 回	Unit 15 - 友人へのメール (現在・過去・未来の表現) & 英文法の総括	事前学習	Grammar (p.96) の演習問題に取り組み、現在・過去・未来表現について整理する。
		事後学習	総復習を行い、試験に備える。
期末試験			